

大豆技術情報 第2号

平成30年6月
なのはな農業協同組合
富山農林振興センター

単収 200kg/10a 以上の確保、大粒比率向上に向けて

- 『培土作業』や『排水対策』等の基本技術を徹底し、初期生育を確保しましょう
- 培土後、発生している雑草の種類を確認し、除草剤を適切に使用しましょう

1 培土

1回目は遅れずに、2回目は確実に！

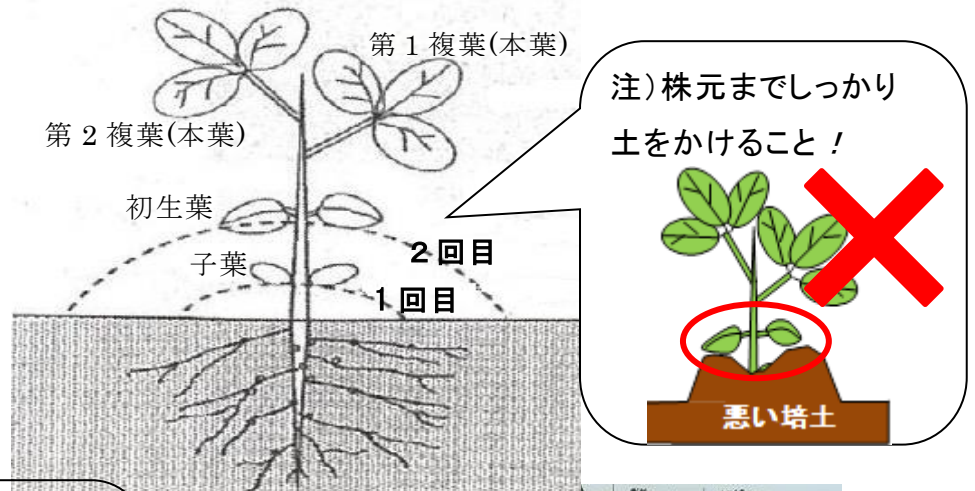
○培土の時期と高さ

	時期	高さ
1回目	本葉2～3葉期 (播種後20～25日頃)	子葉が埋まる程度
2回目	本葉4～5葉期 (播種後30～35日頃)	初生葉が埋まる程度

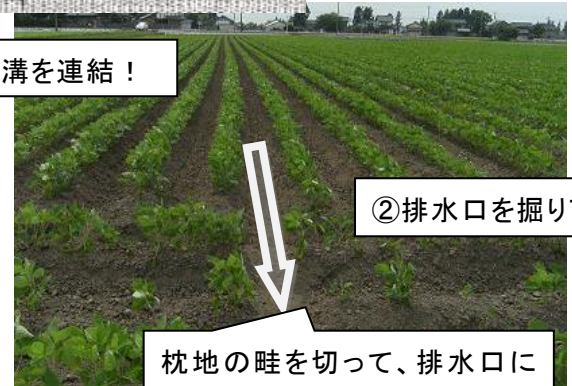
○培土作業のポイント

- ◆培土作業は、ほ場条件の良いときに、晴れ間を見て早めに実施しましょう
- ◆作業前に、培土板や耕うん爪を必ず点検しましょう
- ◆適正な作業速度で、株元にしっかり土をかけましょう
- ◆培土でできた溝は額縁排水溝や排水口にしっかり連結し、排水が速やかに行えるようにしましょう

1回目培土時の大豆(本葉2葉期)



①排水溝を連結!



②排水口を掘り下げる

枕地の畦を切って、排水口に直結する溝を増設する

2 雑草防除

雑草の種類を確認して、雑草に薬剤がしっかりかかるよう散布しましょう!

対象雑草	薬剤名	10a当たり使用量	散布液量	使用方法	使用時期	使用回数
1年生 イネ科	ポルトフロアブル	200～300ml	100ℓ	雑草茎葉 散布	イネ科雑草3～10葉期 収穫30日前まで	1回
1年生 広葉	大豆バサグラン液剤	100～150ml	100ℓ	雑草茎葉 散布	大豆2葉期～開花前(雑草6葉期まで) ただし収穫45日前まで	1回
		300～500ml		畦間雑草 茎葉散布	大豆の生育期(雑草6葉期まで) ただし収穫45日前まで	
1年生 雑草	バスタ液剤	300～500ml	100～150ℓ	畦間・株間 処理	本葉5葉期以降雑草生育期 ただし収穫28日前まで	3回以内
	ロックス(水和剤)	100～200g	70～150ℓ	畦間・株間 処理	本葉3葉期以降(雑草草丈15cm以下) ただし収穫30日前まで	1回

難防除雑草イヌホオズキの防除について

管内では難防除雑草である『イヌホオズキ』の発生が増えており、果実(液果)は大豆の汚損粒の原因となります。発見したら直ちに防除(手取り、除草剤散布)しましょう。

※手取りした株は、種子を残さないようにほ場外で処分しましょう。

○イヌホオズキの防除体系のイメージ(ヒユ類にも効果有)

播種	大豆2葉期	3葉期	4葉期	5葉期
6/1	6/20	6/25	7/1	7/6
ラクサー 又は エコトップ等散布	1回目培土	ロックス散布	2回目培土	バスタ散布

難防除雑草に
効果が高い



イヌホオズキ
※写真右は幼植物体



イヌビユ

防除の際は、農薬の使用基準を正しく守るとともに、周辺作物への飛散に注意しましょう